

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年12月26日

保護者アンケート回収率71.79%（保護者の評価欄は回収分で占める割合です。）

事業所名：すまいる・きつず松陽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員10名が、基準に基いたスペースを確保しています。活動内容によって、部屋を分けたり、戸外活動を行うなど充実したスペースの確保に努めています。	はい…92.6% どちらともいえない…7.4%	保護者送迎時やニーズに応じて随時児童の様子を見学していただけるように対応しています。
	2 職員の適切な配置	基準の人員配置で子ども達の様子に配慮しながら安全に過ごせるようにしています。	はい…85.1% どちらともいえない…14.8%	建物の形態上、死角になる部分もありますが、指導員同士声を掛け合い子ども達の様子を把握出来るようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	本事業所のある建物はエレベーターがない雑居ビル3階という環境であることからバリアフリー化されていません。情報伝達については、視覚的支援を利用し、児童がスムーズに行動できるようにしています。	はい…88.9% どちらともいえない…7.4% わからない…3.7%	今年度は療育室の床を畳敷きの部分を全てマット敷きにリニューアルしました。建物の構造上完全なバリアフリーではありませんが、階段の上がり降りの訓練の一環として捉え、日々の生活の中で自然に力をつけている児童もいます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の業務内容に清掃を行うように盛り込み、清潔で心地よい生活空間を確保出来るように努めています。	今年度は厚労省のアンケート用紙を使用した為、該当する項目がありませんでした。申し訳ありません。	今後も清潔で、心地よく過ごせる場作りを継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の業務終了時の振り返りや月1回のスタッフ会議において職員同士が積極的に意見を出し合い業務改善に繋げています。	/	今後も継続して職員同士が支援のあり方を考えていく為の意見交換がスムーズに行えるような環境作りを心掛けていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2016年10月に第三者評価機構による評価を受けました。評価内容はセミナーを開催し、全従業員で確認し業務改善に繋げています。また、2018年には県による実地指導も受け、同様に全従業員で確認し業務改善に繋げています。	/	外部評価を受けながら業務内容を検討する機会を持ち改善を行っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修については、年間計画を立て取り組んでいます。今年度は市民病院から出前講座に来て頂き「感染症対策研修」を開催するなど、更に内容を深めた研修を行っています。また内部研修だけでなく、県や兵障協等の外部研修にも積極的に参加しています。内容については、スタッフ会議などを通して共有し、日々の支援に取り入れるようにしてい	/	年間計画に基いた社内研修を継続していきます。また、社外研修の情報収集も行い、積極的に参加出来るようにすると共に、研修報告の充実に取り組み、支援につなげていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	はい・・・100%	今後もアセスメントを行い、モニタリングを繰り返すことで、児童と保護者のニーズを確認しながら課題を分析し、放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		今後も子どもの状況を確認しながら活動内容を検討して計画に盛り込んでいきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		今後も継続して行っています。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	はい・・・96.4% どちらともいえない・・・3.6%	放課後等デイサービス計画の内容を確認しながら適切な支援が行えるようにしていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案		年間計画を充実させ、各児童の支援内容に沿った支援が出来るようにプログラム立案を行い活動展開できるように努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		今後も児童・保護者のニーズを確認しながら、さまざまな経験値の向上を目指して支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		事業所周辺の店舗等の利用や外部講師やボランティアさんなどの協力を得ながら更に活動プログラムを充実させていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底		今後も児童の状況や活動状況の確認を行いながら活動展開出来るようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
こ	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の振り返りは、日報に記載し記録として残し、その日の勤務外の職員も確認できるようにしています。定例のスタッフ会議では、1ヵ月の取り組みのふりかえりを全員で行い、情報共有を行っています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援に関しては、個別記録表(フローシート)と、特記事項は日報やヒヤリハットで記録として残し、ケース会議やスタッフ会議において検証・改善に努めています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとにケース会議においてモニタリングを行い、サービス計画の見直しの必要性を判断しています。		今後も継続して取り組んでいきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には、児童発達管理責任者が可能な限り積極的に参加し、保護者・相談専門員・関連事業所・学校と連携を積極的に参加しています。		今後も保護者・学校・相談支援専門員・関連事業所などと連携しながら統一した支援を行えるよう積極的に参画させていただきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	事業所利用前の環境については、アセスメントの中で確認を行い必要に応じて、関係先との間で情報共有出来るように努めています。		今後も継続して行っています。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する子ども達については、それまでの支援内容等の情報を積極的に提供しています。		今後も継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会などの会議に参加し、児童発達支援センター等専門機関との連携、研修などの情報の収集を行っています。研修のお知らせなど事業所内で回覧し周知するようにしています。		今後も継続して積極的に受講を促進していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では、障害のない子どもと活動する機会の提供には至っていません。	はい・・・42.3% どちらもいえない・・・46.4% いいえ・・・3.6% 無回答・・・7.1% はい・どちらともの間・・・3.6%	児童・保護者のニーズを確認しながら検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	当事業所の入居しているビルには様々な店舗があり、送迎時など出会う機会には、職員、児童共に普段から挨拶するように心がけています。事業所の行事(ハロウィン)に協力依頼し、子ども達との交流する機会も作っています。		地域に開かれた事業所運営を目指して積極的に地域活動に参加出来るようにしていきます。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用者負担等については、重要事項説明書に記載し、契約時に内容と説明をしています。また、随時不明な点については、内容についての確認を行い丁寧に説明するように努めています。	はい・・・100%	今後も継続して行っています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、6か月1回(必要な際には随時)計画の見直し、児発管から説明をおこなっています。		今後も継続して行っています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	連絡帳や面談時に事業所での様子をお伝えしています。相談や困りごとは随時お聞きし、一緒に考えお子様との向き合い方や保護者のストレスを和らげるように相談に応じています。		面談時などに保護者のニーズを確認しながらお伝え出来るように努めています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時において状況をお伝えしています。また、モニタリング時には、詳しく説明し、共通理解をしています。	はい・・・96.4% どちらもいえない・・・3.6%	今後も継続して行っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日々の連絡帳や送迎時、あるいは面談時に保護者の悩みなどに耳を傾けるように心がけています。随時、損段専門員等の関連機関との連携を行いながら対応できるようにしています。	はい・・・100%	今後も保護者の思いに寄り添い丁寧な対応に努めています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年1回の保護者会の開催を行っています。父母の会活動には至っていません。	はい・・・75% どちらもいえない・・・17.9% 無回答・・・3.6% はい・どちらともの間・・・3.6%	現在の取り組みにくわえ、保護者同士の連携が出来る取り組みを検討しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談対策マニュアルを作成し、それに基づき迅速活適切に対応できるようにしています。契約時には、本事業所だけでなく行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしています。	はい・・・92.9% どちらともいえない・・・7.1%	今後は契約時だけでなく、保護者会などで周知できるようにしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉だけでなく視覚的な支援を取り入れながら個々の状況に応じた意思疎通や情報伝達ができるように配慮していきます。	はい・・・96.9% どちらともいえない・・・7.1%	今後も継続して行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便りを発行し、写真を入れて日々の活動風景を伝えています。行事予定については、年間計画を年度初めの保護者会にてお伝えしています。日々の連絡は連絡帳にて行い、送迎時や電話連絡も随時行っています。	はい・・・96.4% いいえ・・・3.6%	今後も継続して行っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に書面で同意を頂き、写真の取り扱いについても事前に確認を行うようにしています。書類の取り扱いについても書庫の施錠を行い十分な対応に勤めています。	はい・・・96.4% どちらともいえない・・・3.6%	今後も個人情報の取り扱いについては、十分に配慮していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定して事業所に常設し、それに基づき社内研修などを行いながら、職員に周知するように努めています。保護者への周知には至っていません。	はい・・・85.7% どちらともいえない・・・7.1% いいえ・・・3.6% 無回答・・・3.6%	今後は各種マニュアルの周知徹底ができるよう、事業所で閲覧できる環境づくりと、保護者会などで周知できるようにしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	日頃から災害についてのニュースなどに触れ、意識付け出来るように取り組んでいます。今年度は、9月に火災避難訓練を行いました。1月には震災時避難訓練を実施する予定です。毎年長期休暇を利用し、加古川市防災センターにて地震体験、煙避難体験、水消火器での消火体験を児童・職員共に経験しています。	はい・・・96.4% 無回答・・・3.6%	今後も継続して様々な災害に対応できるような災害を設定した訓練を行っていきます。また、その内容を連絡帳やお便りを通じて報告していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを策定し、社内・外での研修にも参加し、職員への周知徹底に努めています。日々の振り返りやスタッフ会議などで支援姿勢について話し合いが持てるように心がけています。		今後も社内外研修に積極的に参加し、職員全体で日々意識し、適切な対応ができるように取り組んでいきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	日々の振り返りなどで児童の様子を把握しながら、会議にて確認・検討し、放課後デイサービス計画に記載しています。その内容を保護者に説明し、同意を頂いています。		今後も継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーについては、契約時のアセスメントの中で聞き取り、対応方法を保護者に確認しています。該当児童の利用日には、その他の児童のおやつも同様に配慮しています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した際には、振り返りで内容を確認し、今後の支援に生かせるようにしています。事例内容は、書面に記入し事例集としてファイリングし、いつでも職員が見れるようにしています。		今後も安心、安全で過ごせるようにヒヤリハット事例集を更新し取り組んでいきます。
満足度	7 子どもは通所を楽しみにしているか	子ども達の発言や様子を観察、保護者のニーズも面談時などに確認し、活動を楽しみながら課題に取り組めるように展開しています。また、事業所外の場所の利用や外部講師やボランティアさんなどの協力も得ながら、様々な経験が出来るようにしています。	はい・・・96.4% どちらともいえない・・・3.6%	今後も児童・保護者のニーズを確認しながら、プログラムを工夫し安心して楽しい放課後が過ごせるように取り組んでいきます。
	8 事業所の支援に満足しているか	障害特性を理解できるように研修等に積極的に参加出来る環境を作り、スタッフ会議やケース会、日々の振り返り等を通して職員同士が意見を出し合い、より良い支援方法を検討し、次の日の活動につなげています。	はい・・・100%	今後も一人一人の様子を理解しながら、より良い支援が出来るように取り組んでいきます。